

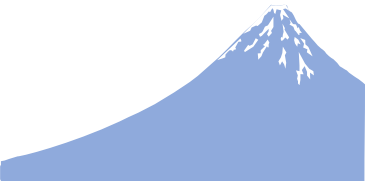
2026年6月 治安情勢

トリニダード・トバゴ及び当館管轄国

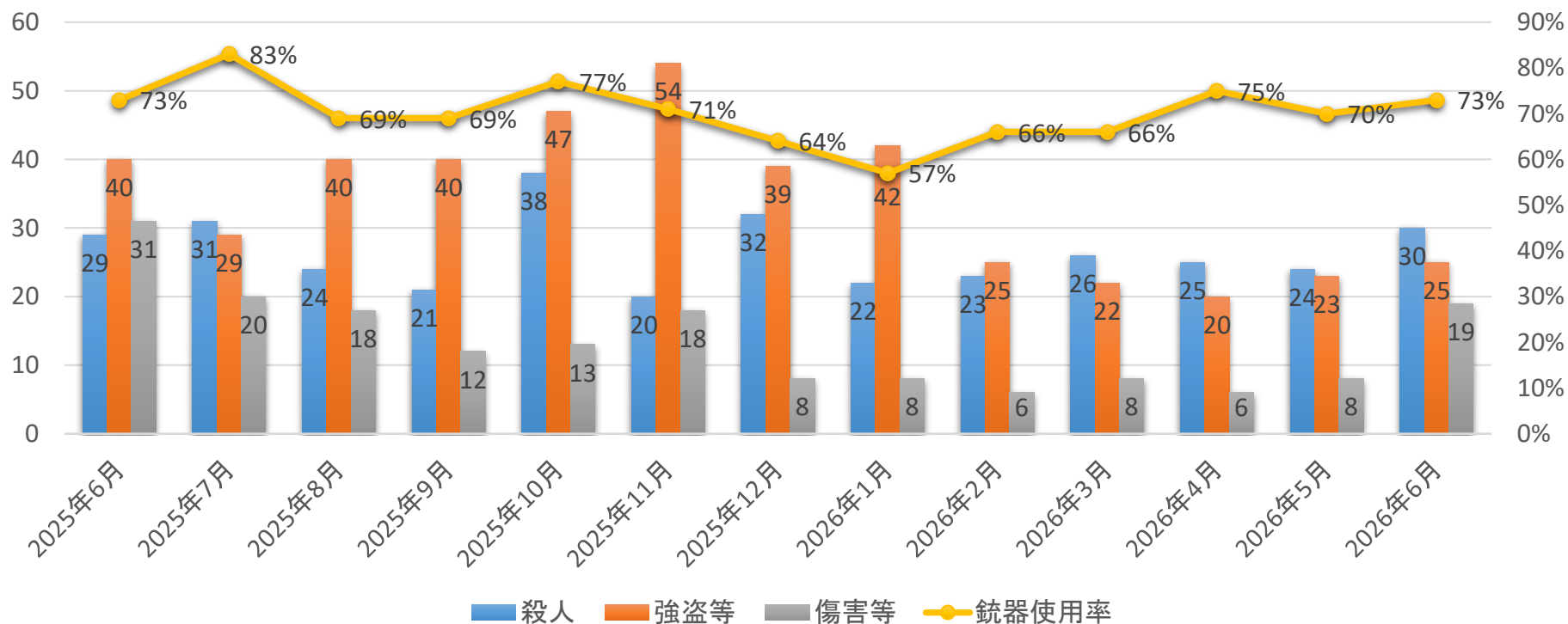
在トリニダード・トバゴ日本国大使館

管轄国別 犯罪発生件数（2026年6月）

	国名	殺人	強盗等	傷害等	誘拐	性犯罪	銃器 使用率
1	トリニダード・トバゴ	30	25	19	3	1	73%
2	ガイアナ	4	3	3	0	1	45%
3	グレナダ	0	0	0	0	0	0%
4	スリナム	1	4	2	0	0	57%
5	セントビンセント	2	0	1	0	0	100%
6	セントルシア	1	0	3	0	0	100%



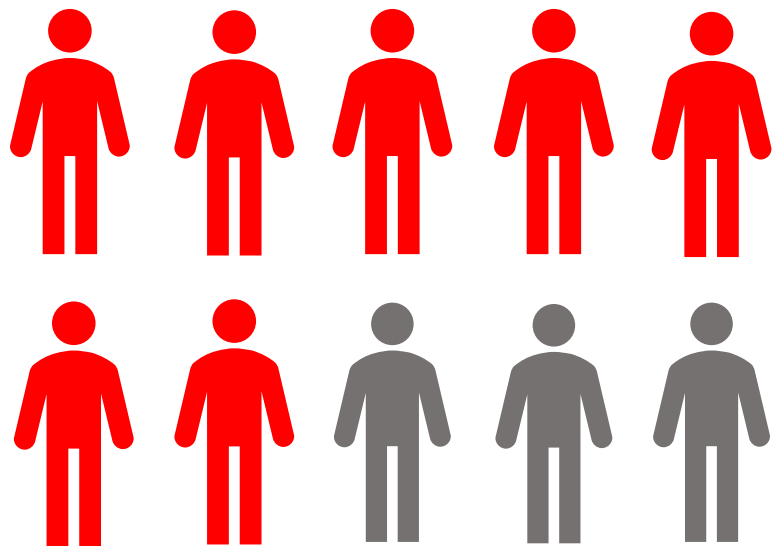
犯罪発生推移（トリニダード・トバゴ）



トリニダード・トバゴにおける犯罪発生件数は高水準で推移しており、治安情勢は依然として予断を許さない状況が続いています。特に殺人や強盗といった凶悪犯罪の発生が目立っており、これらは単に特定の犯罪組織間に留まらず、一般市民が巻き込まれるリスクもはらんでいます。日頃から最新の治安情報の入手に努め、危機意識を高く保つことが重要です。

些細なトラブルが致命傷へ

極めて高い銃器使用率

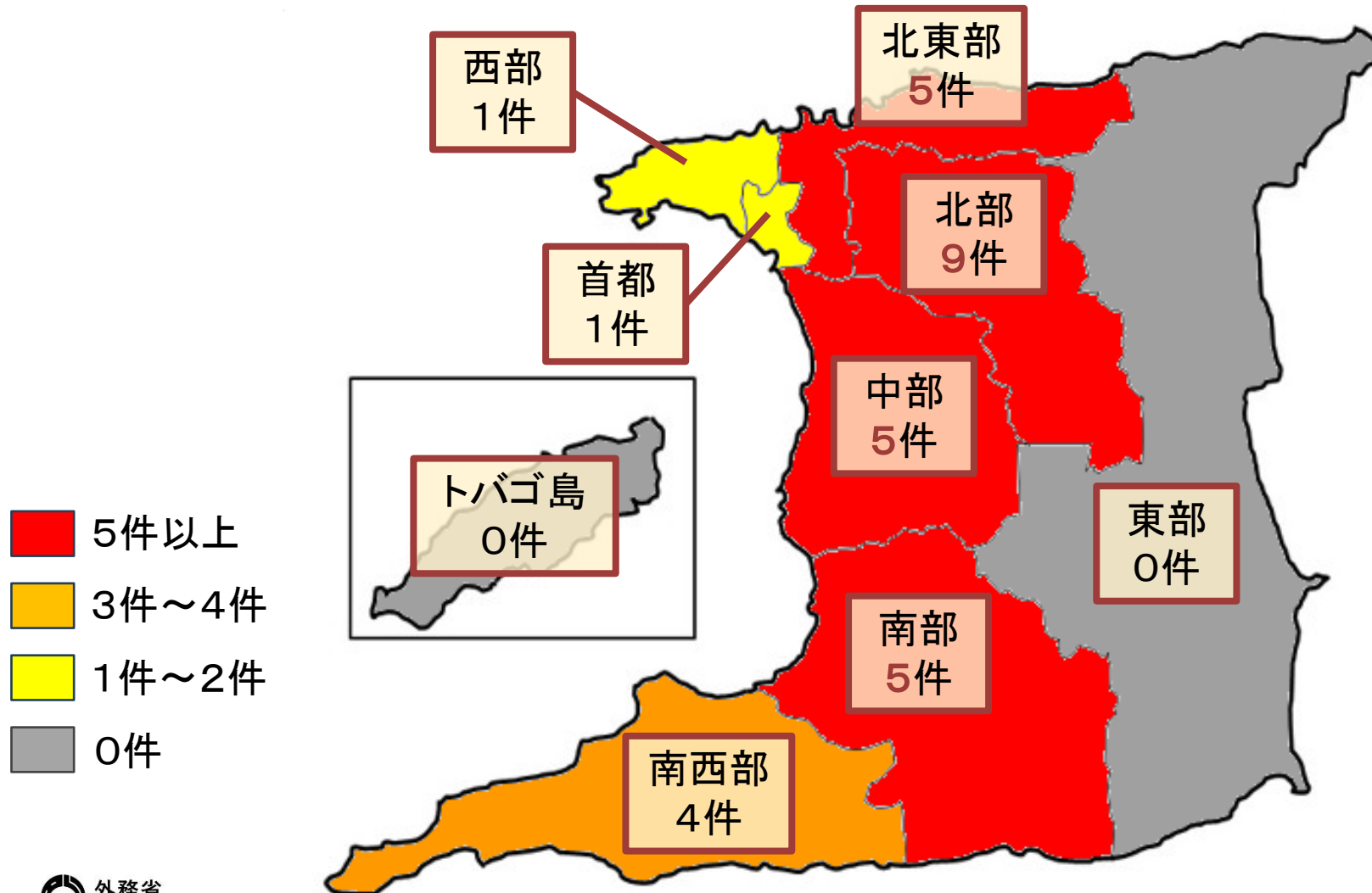


73%

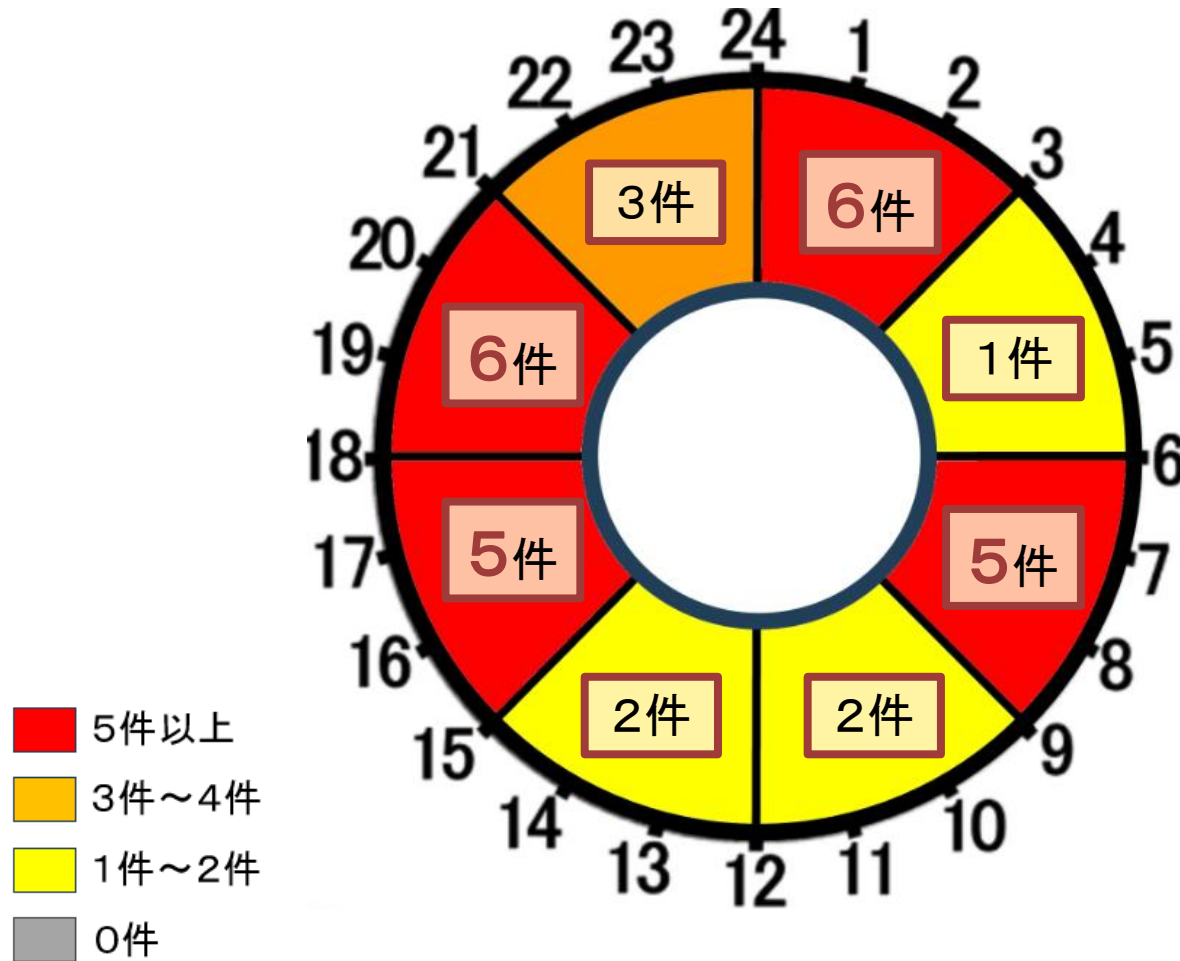
殺人・強盗事案の73%
で銃器が使用されている

公共の場での発砲事案も発生。周囲の状況に対する最大限の警戒が必須。

トリニダード・トバゴ警察方面別 殺人事件発生件数状況（2026年6月）



時間帯別殺人事件発生件数（2026年6月）



時間帯別の発生傾向を見ると、18時から21時にかけての夜間、および24時から午前3時にかけての深夜帯に殺人事件が集中していることが分かります。

日中の時間帯であっても油断は禁物ですが、特にこれらの危険な時間帯における不要不急の外出は避け、夜間の移動は信頼できる交通手段を利用するなど、時間帯に応じた防犯行動を徹底してください。

危険は予測可能である



これまでに挙げたデータが示す通り、当国の凶悪犯罪には『高い銃器使用率』『特定の時間帯（夜間・深夜）』『特定の地域（ホットスポット）』という明確なパターンが存在します。つまり、危険な『時間・場所・状況』を正しく理解し、それらをあらかじめ回避することで、被害に遭う確率を大幅に下げることが可能です。犯罪のパターンを頭に入れ、自ら危険に近づかない選択を心がけてください。

安全対策の基本的心構え

1	目立たない 犯罪者やテロリストは、標的を選ぶ際にまずは目立つ人物に目を付ける傾向があります。
2	行動を予知されない 行動のパターン化は、犯罪者、テロリストなどに攻撃計画を立てやすくします。
3	用心を怠らない 家族全員、組織全体で気持ちを引き締める機会を定期的に持つことが必要です。

